



# 平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月9日

上場会社名 オプテックスグループ株式会社  
 コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp/group/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 小國 勇

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼CFO (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	9,145	38.9	1,332	49.8	1,309	79.6	844	77.7
28年12月期第1四半期	6,584	6.1	889	14.7	728	23.9	475	17.1

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 797百万円 ( %) 28年12月期第1四半期 39百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	48.69	48.65
28年12月期第1四半期	28.71	28.70

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	38,265	28,984	68.8
28年12月期	37,681	28,654	65.0

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 26,312百万円 28年12月期 24,504百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		20.00		25.00	45.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		20.00		25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,200	32.3	1,600	6.9	1,650	47.1	1,050	47.3	60.54
通期	35,600	14.7	3,700	22.7	3,800	23.1	2,500	38.2	144.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	17,484,732 株	28年12月期	16,984,596 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	142,735 株	28年12月期	435,160 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	17,342,658 株	28年12月期1Q	16,548,252 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料につきましては、決算発表後一週間以内に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済情勢は、政府の経済政策、先進国経済の回復、中国経済の持ち直し等を背景に、企業収益や雇用情勢の改善が見られるなど、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外におきましては、景気は緩やかに好転しつつあるものの、米国新政権の政策運営や欧州の政治情勢などへの警戒感の高まりから、先行きの見通しが困難な情勢となっております。

このような状況の下、当社グループは、組織再編を行い平成29年1月1日より持株会社体制へ移行いたしました。この新しいグループ体制において、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す。」を経営方針に掲げ、第2創業期のスタートとの位置づけの下、各事業会社が事業に専念できる組織環境を整え、グループとしての一体感を醸成することで新たなグループシナジーを創出することに努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間は、シーシーエス株式会社が連結子会社に加わったことやF A事業の伸長等により、売上高は91億45百万円と前年同期に比べ38.9%の増収となりました。利益面につきましても、営業利益は13億32百万円（前年同期比49.8%増）、経常利益は13億9百万円（前年同期比79.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億44百万円（前年同期比77.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、持株会社体制へ移行したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分及び名称を変更しております。以下の前年同期比較については、変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」の「II 2. 報告セグメントの変更に関する事項」に記載しております。

#### ① S S事業

当社グループの主力事業であるS S事業は、売上高51億11百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益7億40百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高33億56百万円（前年同期比1.5%減）となりました。国内におきましては、警備会社向け屋外用センサの販売が堅調に推移した結果、前年同期実績を若干上回りました。一方海外におきましては、アジア向けの販売は順調に推移いたしましたが、北米及び欧州向けは現地通貨ベースでの販売は伸長したものの、為替の影響により前年同期実績を下回る結果となりました。

自動ドア関連につきましては、国内向けの販売は堅調に推移したものの、海外向けの販売が前年同期実績を下回り、売上高10億38百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

#### ② F A事業

F A事業は、国内におきましては、半導体、二次電池、フラットパネルディスプレイなどの電子部品業界及び食品業界向けの販売が順調に推移いたしました。また、海外におきましても欧州及び中国向けの販売が順調に推移し前年実績を上回りました。この結果、売上高は16億86百万円（前年同期比22.2%増）、営業利益は2億54百万円（前年同期比147.2%増）となりました。

#### ③ M V L事業

M V L事業は、国内におきましては、レンズ・カメラなどの周辺商材を含めたソリューションの拡充と提案の強化が進行し、受注機会の増加により売上高は堅調に推移いたしました。

海外におきましては、欧州では半導体市場の回復基調により大手顧客向けの売上が伸長し、シンガポールをはじめ東南アジアでも販売が順調に拡大いたしました。この結果、売上高は23億43百万円、営業利益は3億56百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は382億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億83百万円増加しました。

流動資産は257億11百万円となり、8億77百万円増加しました。これは有価証券が3億74百万円減少したものの、主に受取手形及び売掛金が5億72百万円、商品及び製品等の棚卸資産が2億45百万円、現金及び預金が1億67百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は125億54百万円となり、2億93百万円減少しました。これは主に減価償却等によるのれんや顧客関係資産等の無形固定資産が1億42百万円、投資有価証券等の投資その他の資産が1億9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は92億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億54百万円増加しました。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定分を含む長期借入金が2億20百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が4億82百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は289億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億29百万円増加しました。これは主に、平成29年1月1日付で子会社のオブテックス・エフエー(株)を株式交換により完全子会社としたこと等により、非支配株主持分が14億77百万円減少する一方で資本剰余金が11億56百万円増加したこと、また利益剰余金が4億30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、MVL事業における国内およびアジア市場向け製品の伸長などにより予想を上回る好業績となりました。しかしながら、この結果には第2四半期連結会計期間以降に見込んでいた営業成果の前倒し要素や、製品売上構成による売上原価率影響などが含まれております。

従いまして、当連結会計年度の業績見通し(第2四半期累計および通期)については、平成29年2月13日に公表いたしました予想から変更しておりませんが、連結業績予想に関して変更が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,000	10,168
受取手形及び売掛金	7,838	8,411
有価証券	621	247
商品及び製品	3,056	3,082
仕掛品	314	355
原材料及び貯蔵品	1,674	1,853
繰延税金資産	534	568
その他	836	1,062
貸倒引当金	△44	△39
流動資産合計	24,833	25,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,290	1,288
機械装置及び運搬具(純額)	313	288
工具、器具及び備品(純額)	617	626
土地	1,966	1,966
建設仮勘定	86	63
有形固定資産合計	4,275	4,233
無形固定資産		
特許権	785	764
商標権	826	803
顧客関係資産	1,410	1,369
のれん	887	851
その他	503	482
無形固定資産合計	4,414	4,272
投資その他の資産		
投資有価証券	3,023	2,951
長期貸付金	30	47
繰延税金資産	589	549
その他	566	550
貸倒引当金	△51	△50
投資その他の資産合計	4,158	4,048
固定資産合計	12,847	12,554
資産合計	37,681	38,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,630	2,113
短期借入金	1,663	1,503
1年内返済予定の長期借入金	170	151
未払金	988	817
未払法人税等	390	470
繰延税金負債	13	12
賞与引当金	236	390
役員賞与引当金	3	9
その他	607	606
流動負債合計	5,704	6,076
固定負債		
長期借入金	160	118
繰延税金負債	1,117	1,082
再評価に係る繰延税金負債	22	22
退職給付に係る負債	1,085	1,105
役員退職慰労引当金	289	121
その他	647	754
固定負債合計	3,322	3,205
負債合計	9,026	9,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,667	4,824
利益剰余金	18,337	18,768
自己株式	△543	△177
株主資本合計	24,260	26,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	168
土地再評価差額金	△5	△5
為替換算調整勘定	134	△30
退職給付に係る調整累計額	△33	△33
その他の包括利益累計額合計	243	99
新株予約権	37	35
非支配株主持分	4,113	2,636
純資産合計	28,654	28,984
負債純資産合計	37,681	38,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	6,584	9,145
売上原価	2,925	4,006
売上総利益	3,659	5,138
販売費及び一般管理費	2,769	3,806
営業利益	889	1,332
営業外収益		
受取利息	30	10
受取配当金	10	13
受取賃貸料	4	5
持分法による投資利益	0	48
保険解約返戻金	0	—
投資事業組合運用益	1	9
その他	5	12
営業外収益合計	52	101
営業外費用		
支払利息	0	4
為替差損	187	103
賃貸費用	4	3
その他	21	14
営業外費用合計	213	125
経常利益	728	1,309
特別利益		
固定資産売却益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	743	1,308
法人税、住民税及び事業税	265	388
法人税等調整額	△10	△41
法人税等合計	255	347
四半期純利益	487	960
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	475	844



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	487	960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	16
土地再評価差額金	1	—
為替換算調整勘定	△473	△179
退職給付に係る調整額	0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△527	△163
四半期包括利益	△39	797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40	699
非支配株主に係る四半期包括利益	1	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年1月1日を効力発生として、当社を株式交換完全親会社とし、オブテックス・エフエー株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が1,156百万円増加し、自己株式が375百万円減少しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	FA事業	MVL 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,201	1,379	—	6,581	3	6,584	—	6,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	0	—	18	5	24	△24	—
計	5,219	1,379	—	6,599	9	6,608	△24	6,584
セグメント利益	800	102	—	903	△14	889	0	889

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	SS事業	FA事業	MVL 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,111	1,686	2,343	9,140	4	9,145	—	9,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	8	0	58	3	61	△61	—
計	5,161	1,694	2,343	9,199	8	9,207	△61	9,145
セグメント利益	740	254	356	1,351	△13	1,338	△5	1,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

平成29年1月1日付で持株会社体制へ移行したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更し、従来の「センシング事業」「FA事業」「マシンビジョン照明事業」「生産受託事業」の4区分から、「SS事業」「FA事業」「MVL事業」の3区分に変更しております。

変更後の各報告セグメントの主な製品群及びサービスは次のとおりであります。

セグメントの名称	主な製品群及びサービス
SS (Sensing Solution) 事業	防犯関連、自動ドア関連、計測関連、交通関連、電子機器受託生産サービス、客数情報システム、電子部品の開発及び販売
FA (Factory Automation) 事業	ファクトリーオートメーション関連
MVL (Machine Vision Lighting) 事業	画像処理用LED照明装置関連

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。